

2019年度

# 環境経営レポート

(対象：2019年4月1日～2020年3月31日)



作成日 2020年 6月 30日

株式会社GEOソリューションズ

## 目次

1. 組織の概要 .....	3
2. 環境経営方針 .....	7
3. 環境経営目標 .....	8
4. 環境経営活動計画 .....	9
5. 環境経営目標の実績 .....	10
6. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画 .....	12
7. 環境経営関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、起訴等の有無 ...	13
8. 代表者による全体評価と見直しの結果 .....	13
9. 小さな社内取組 .....	14
10. 地域環境維持についての考察 .....	15

## 1. 組織の概要

### 1-1 事業所名・所在地

#### 株式会社GEOソリューションズ

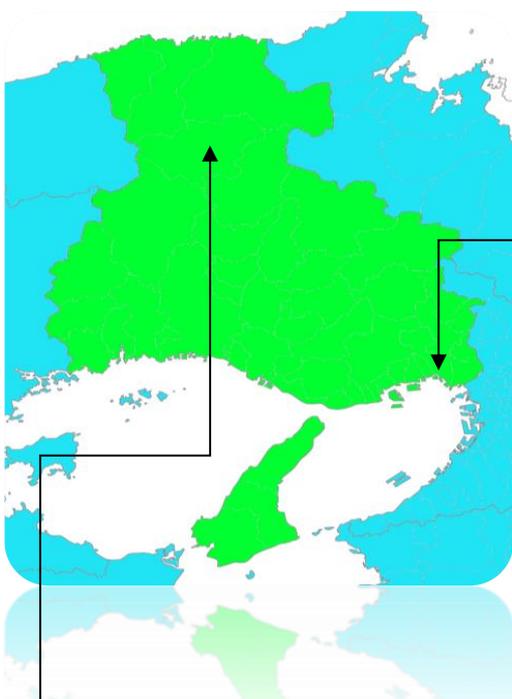
西宮本社 : 〒663-8243 兵庫県西宮市津門大筒町2番23号 TEL0798-37-1280

養父技術所 : 〒667-0022 兵庫県養父市八鹿町上網場270-6 TEL0796-63-2627

代表者 藤井達司

環境管理責任者 佐々木 藍子

担当者連絡先 TEL0798-37-1280 中田英子



### 西宮本社



### 養父技術所



株式会社GEOソリューションズ

### 1-2 事業の概要

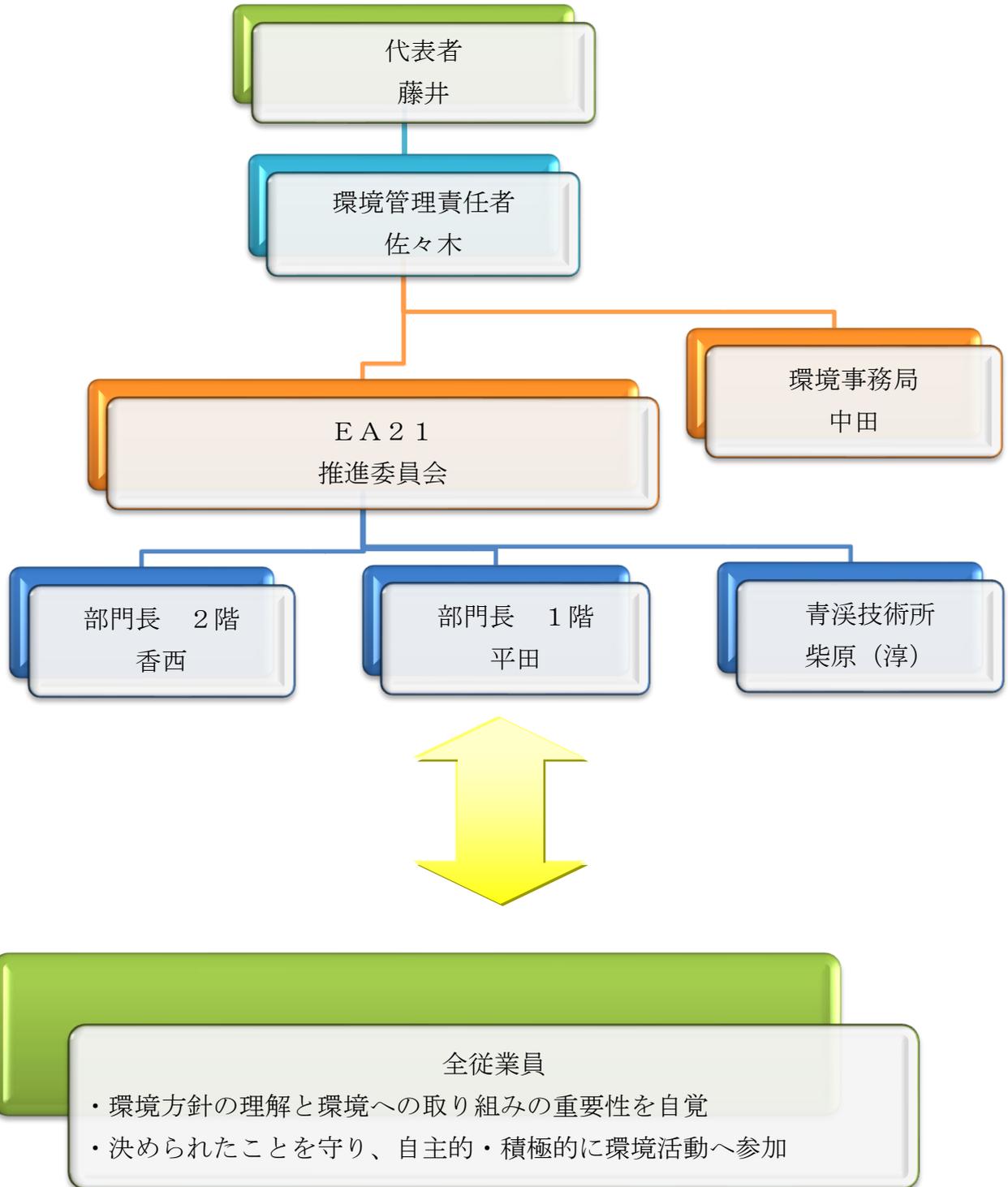
航空写真や衛星写真を利用し広域で指定された精度を担保した地理情報データの作成を中心とした測量業と、地理情報を作成するCADソフト・地図を閲覧・出力・加工・分析・解析を行うGISソフト開発まで、地図にまつわる全ての業務に必要な作業を行なっております。



### 1-3 事業規模等

活動規模	単位	13期	14期	15期
		2016/10~2017/9	2017/10~2018/9	2018/10~2019/9
売上高	百万円	309	437	449
従業員	人	48	53	65
床面積(本社)	m <sup>2</sup>	292	292	292
床面積(青溪)	m <sup>2</sup>	257	257	257

### 1-4 組織体制図



## 役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>・環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ票を承認</li> <li>・環境目標・環境活動計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境活動レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境目標、環境活動計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営システムの実施</li> <li>・自部門における環境方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## 2. 環境経営方針

### 環境経営方針

#### 【基本理念】

株式会社GEOソリューションズは、自然環境が現状から損なわれていく状況を課題とチャンスと捉え、微力ながらもくい止めるために貢献できることを考え、自然環境の維持に積極的に取り組みます。また、同時に生活環境の美化にも努めて行きます。

#### 【行動指針】

- ・ 使用電力の削減に努めます。
- ・ 環境対策・防災対策等の基礎資料となる精緻な地図作りに努めます。
- ・ 環境関連法規制や当社が約束した事を遵守します。

この環境方針は全ての従業員へ周知します。

制定日 2011年10月1日

改定日 2012年6月23日

改定日 2012年11月29日

改定日 2019年8月7日

代表取締役社長 藤井達司

### 3. 環境経営目標（中期計画を含む）

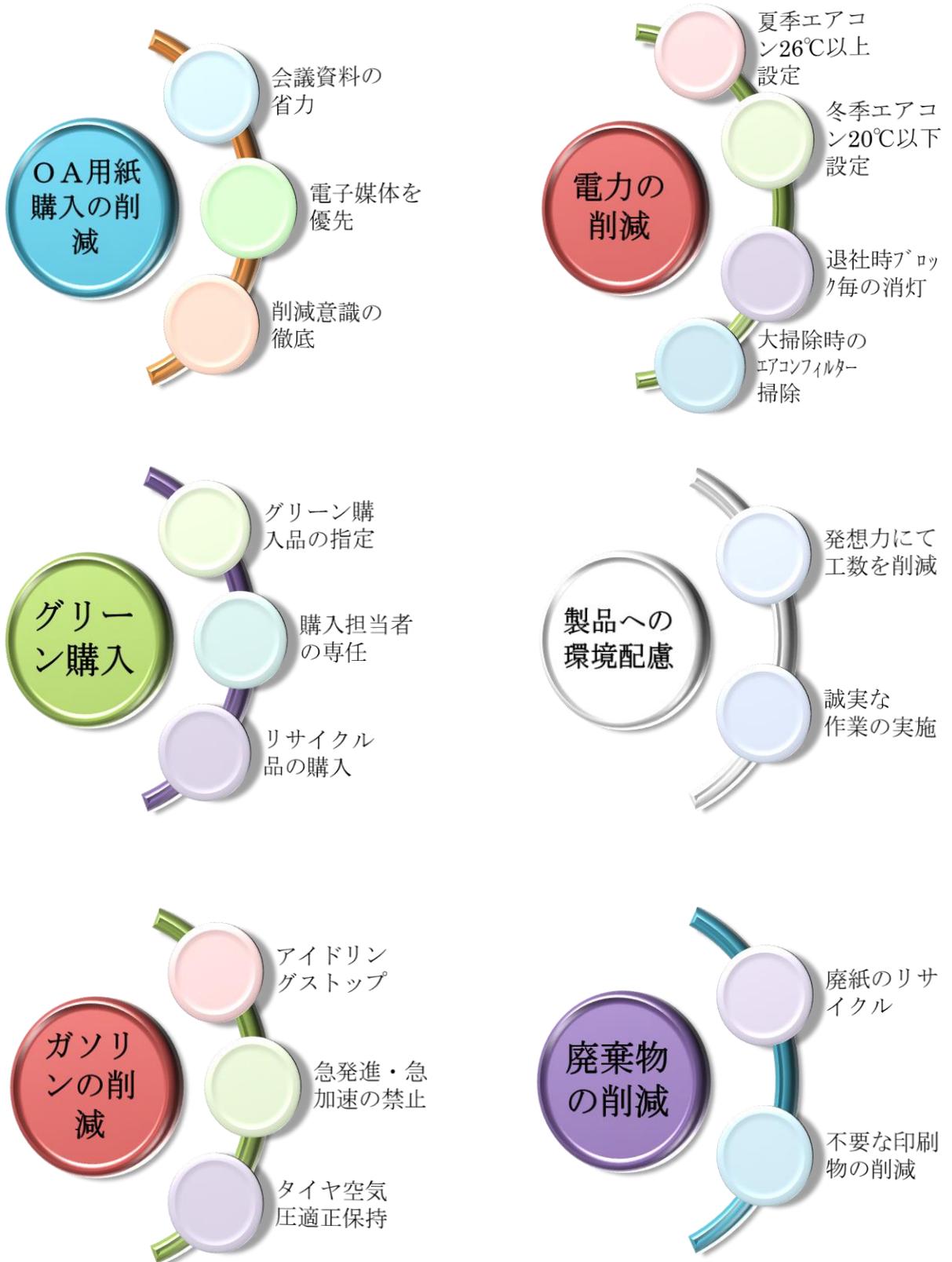
基準を H23 年～H25 年度の平均とする。

なお、一般廃棄物の削減・製品への環境配慮は基準値を上回らないものとする。

	基準 (H23~H25 平均)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R 1 年度
電力の削減	83,956kWh	81,437 kWh	80,597kWh	79,758 kWh	78,919kWh
OA 用紙の購入削減	1.68t	1.63t	1.63t	1.63t	1.63t
一般廃棄物の削減	1.45t	1.45t 以下	1.45t 以下	1.45t 以下	1.45t 以下
製品への環境配慮	3 件	0 件	0 件	0 件	0 件

- 1) 自動車燃料（ガソリン）の削減については走行距離等が大きく変動する為目標としない。
- 2) 水使用量の削減についてはトイレへの使用のみで量的に少ない。また、管理会社からの割り振りの報告で意味が無い。  
従って、目標としない。

#### 4. 環境経営活動計画



## 5. 環境経営目標の実績

項 目	基準年度 (H23~25年度平均)	施工期間の目標 (H31年度)  H31年4月～ R2年3月	施工期間の実績 (H31年度) H31年4月～ ～ R2年3月	目標達成度  削減実績	評 価
電力の削減 基準年度比-1%	西宮 63,509kWh	59,698kWh	47,025kWh	-12,673kwh	○
	青溪 20,447kWh	19,220kWh	17,436kWh	-1,784 kwh	○
	全社 83,956kWh	78,919kWh	64,461kWh	-14,458 kwh	○
一般廃棄物の削減	西宮 約 1.27 t	約 1.26 t	約 1.22 t	-0.04 達成	○
	青溪 約 0.18 t	約 0.18 t	約 0.18 t	-	○
	全社 約 1.45 t	約 1.45 t	約 1.40 t	-0.05 達成	○
OA用紙購入の削減 基準年度比-1%	西宮 1.62 t	1.57 t	1.12 t	-0.45 達成	○
	青溪 0.06 t	0.060 t	0.072 t	+0.012 未達成	×
	全社 1.68 t	1.63 t	1.13 t	-0.5 達成	○
製品への環境配慮 クレーム件数0件	3件	0件	7件	未達成	×

クレーム件数については0件でなければ×

## 【参考】

二酸化炭素排出量への換算(購入電力の二酸化炭素排出係数：0.334kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

	西 宮	青 溪	全 社
基準年度	32,771kg-CO <sub>2</sub>	10,551kg-CO <sub>2</sub>	43,321kg-CO <sub>2</sub>
施工期間の目標	30,804kg-CO <sub>2</sub>	9,918kg-CO <sub>2</sub>	40,722kg-CO <sub>2</sub>
施工期間の実績	24,265kg-CO <sub>2</sub>	8,997kg-CO <sub>2</sub>	33,262kg-CO <sub>2</sub>

- 1) 電 力 : 西宮本社はLED工事、エアコンの買い替えを行い、電気量に対して省エネ対策を行った。これらのことにより大きく二酸化炭素排出量計的には有効に働いたと思います。その他の内容については前年度同様に進めて行きたいと考えております。
- 2) 廃 棄 物 : 計測は続行しておりますが、結果的にもあまり影響のない項目です。大きな意味では照明のLED化に伴い、交換サイクルが圧倒的に伸びるとの事ですので、このあたりでもLED効果があると考えております。
- 3) O A用紙購入 : 物件によって用紙の量は大きく依存するので、年度事の推移にはあまり注力する必要はないと考えております。ただ、例年の節約意識は浸透しているのでこのまま進めていく事としております。
- 4) クレーム件数 : クレーム件数は前年度より減少させることができました。これからもクレームゼロを目指し、昨年度と同じように発想力と基礎理解力の向上、目視と声掛けを中心とする検査の充実、それらを意識づける事をより進めてゆきたいと考えております。
- 5) 自動車燃料 : 自動車燃料(ガソリン)の削減については走行距離等が大きく、これは営業活動の充実や、打合せ場所・作業現場の距離により大きく影響を受ける項目であり、案件受注の増加と共に使用量増となるため、目標とはせずに使用量の把握のみ行う事としております。

## 6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

目標項目	取組	取組状況	評価コメント
電力の削減	部門毎に全員退社時点で完全消灯	○	退社時の完全消灯・PCのシャットダウンは日常化できている。エアコンについても、業務の効率を良いものにする為見直した効果があった。エアコンの最新化により電力の消費を抑えられた。照明のLED化が大きな成果を上げる取り組みである。
	退社時のパソコン電源OFF	○	
	夏季エアコン25℃	○	
	冬季エアコン20℃	○	
	エアコン使用時の換気扇・窓の開は2hに1回5分以内	○	
	フィルターの掃除(年2回)	○	
一般廃棄物の削減	分別の徹底	○	大きな廃棄物を出す製造業でないため問題ないと考えている。
	廃紙のリサイクル化	○	
	不要な印刷物の削減	○	
OA用紙購入の削減	使用量削減意識の徹底	○	紙の使用量自体は物件量や物件の質に依存するため、比較できない部分があり、削減意識は浸透しているため、問題ないと考えております。
	印刷前の枚数大きさ確認	○	
	FAX用紙裏紙使用	○	
	会議資料の削減	○	
	極力電子媒体に記録する	○	
車両燃料の節減	アイドリングストップ	○	営業車はハイブリットに変更してリースしている。
	急発進急加速の禁止	○	
	タイヤ空気圧適正保持	○	
製品への環境配慮	誠実な作業と的確な業務内容	×	今回のクレーム件数は、基礎能力の向上、単純確認の洩れ、新規物件の弱さの露呈であり、教育を進めて行く。
	発想力にて工数を削減する	×	

### 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

・弊社の業態で最もエコに貢献できる製品作成時間の短縮・効率化が、クレームによって損なわれる結果となっております。こちらの対応を徹底的に進めます。

(4. 環境活動計画を参照ください。)

## 7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、起訴等の有無

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況評価
廃棄物処理法	一廃収集業者の許可の確認	○
消防法	火災の予防	○
地球温暖化対策法	温室効果ガス排出抑制	○

※過去に環境法規の違反・起訴はありません。

## 8. 代表者による全体評価と見直しの結果

### ○ 環境経営方針

我々は長きにわたる多くの環境破壊の中で、現在の先進的な生活の恩恵を受け、より生命の安全を確保されている生態系の頂点として存在しています。

今後、安全にこの位置にい続けるには、次は現在に残る自然環境を、守り続けることが重要です。弊社は、多少の努力で環境保護に転換できる事は、率先して取り組んで参ります。

### ○ 環境経営目標

弊社は、LEDの導入、環境対策車の導入、グリーン購入などは優先して選択していき、従業員の皆様にも、環境に配慮した運営見本となり、弊社から少ないネットワークでも、考え方の拡散が行えることを目標にします。

### ○ 環境経営計画

弊社は、高度成長期から長い年月が経ち、整備されたインフラの老朽化による対策が進む中、対策が必要な個所を調査・点検を行い、ライフサイクルコストの低減効果が高い、其々の設備に対するストックマネジメントの方針に基づき、調査・点検の低コスト化、自動化の研究を推進していきます。

## 9. 小さな社内取組

青溪技術所は360°山に囲まれ、横には円山川が流れる環境で緑豊かな環境です、本社をおく西宮市も少しでも環境が良くなるように、社内やベランダに少しでも緑を置いて育てております。本当に大事に育てておりますので『幸福の木』においては花が咲くくらいです。他の草木も針金のような細い株を購入しているのですが、購入時の事が想像つかないくらい大きく育てております。

(花の咲いた幸福の木)



(ぐんぐん成長する草木)



また、小さなものですが自然に帰らないゴミもありますので、週の始まりは会社の周辺に関して清掃活動を行なっております。



## 10. 地域環境維持についての考察

私たちが本社をおく西宮市も40年程前は、環境等あまりふれられる事も無く、工場と遊技場が多く立ち並び、現在よりも空も海も川も汚く、公害を絵に描いたような灰色の環境でした。現在はマンションや公園で構成される公害の少ない環境になりましたが、この周辺では空き地も無くなりカマキリやバッタは見る機会は少なくなりました。

下記の写真は西宮市の市街地近辺で生存している身近な昆虫たちです。特に綺麗な昆虫を掲載しておりますが、まだまだ沢山の綺麗な昆虫が生存しております。残念なことに、数年前から見なくなったものもいます。どんどん人間の創造により生存できる生物が減少しております。こういった地球の仲間たちを少しでも守りながら企業は経済活動を行なう時代だと思います。我々も未来を見つめて少しでも地球環境に熟慮をしなければならぬと痛感しております。

(毎年見られる昆虫たち)



(数年見られなくなった昆虫たち)



(このハンミョウは突然変異色?)



<http://www.geo-sol.co.jp/index.html>